

新年ご挨拶

公益社団法人 大阪府鍼灸師会
会長 得本 誠

2021 明けましておめでとうございます。
 昨年は新型コロナウイルス感染拡大を受け様々なイベントが中止を余儀なくされました。
 本年も我々は新型コロナウイルス感染拡大を見据えながら施術、イベント、研修等を行っていかなくてはなりません。
 施術所においては、個々の鍼灸師がご自身及び患者様に対して感染予防を徹底して頂き日々の生活を送って頂きたく存じます。
 本会行事としては、研修会をリモートでの開催又はソーシャルディスタンスを保ちながらの現場参加としています。
 本会に係るイベントについては、3月分までが全て中止の発表が出ています。要請が有れば感染対策を万全に参加をさせて頂く所存です。
 会員の皆様におかれましては、医療界への受診控えによる収入減少の声も聞こえていますが、各種助成金の申請をされた方も多数と聞き及んでいます。業界で生き残るため進まなければなりませんが、時には辛抱も必要と思われましますので何とか、「時が過ぎるまで」踏ん張って頂きたくお願い申し上げます。
 昨年10月には、新型コロナウイルス専門病院阪和第2病院へ慰問をし、医療従事者の皆様への施術をさせて頂きました。
 我々の出来る事を出来る範囲で貢献できる「鍼灸師」で有りたい思いを継続してまいりたい所存ですので、今回の要請が有れば皆様の参加をお願い申し上げます。
 最後になりますが、辛丑が最高の年になりますと共に、皆様のご健康、ご多幸を心より祈念申し上げます新年のご挨拶とさせていただきます。



Study
学

素問

素問勉強会 十月

講師：日本鍼灸研究会代表 篠原 孝市 先生

- 日 時：令和2年 11月8日(日)
- 会 場：大阪府鍼灸師会館 3階
- 出席者：会員13名(うちWeb5名) 一般12名(うちWeb3名) 学生13名(うちWeb13名)

*11月度も10月度と同様、会館での講義と併せてネット配信も行いました。

・陰陽類論篇第七十九

第五章（一部を抜粋）

冬三月の病、理に在りて、已に盡きたれば、草と柳葉と与に、皆な殺さん。春に陰陽皆な絶すれば、期は孟春に在り。

(解説)
 孟春：春のはじめのこと。おおむね今の二月である。
 王冰の注
 ①裏とは二陰、腎の氣を謂う。(＊二陰＝少陰、少陰腎経)然り腎の病

にして、正月、脈に死徴あるものは枯草 盡 青くして、柳葉、生出するをもって皆な死す。「裏」は「理」なり。「已」は「以」なり。古用いること同じ。(昔はそういうふうに読んだものだ)
 ②立春の後、而して脈、陰陽皆な懸絶する者は、死を期するに正月を出でず。(立春になって陰も陽もすべて脈が虚して弱い状態であると、一月足らずで亡くなってしまう)

張燦こう(こうは、玉へんに甲)等は、『黄帝内經素問校釋』(山東中医学院・河北医学院校釈、人民衛生出版社1982年。中国医薬科技出版社2016年再版)に於いて、この一節全体に対し馬玄臺と王冰の注を挙げ、このように記す。

馬玄臺という人の注は「冬三月の病で予後不良の病症状というのは、すべて現れていて、草や柳が葉をつける時に至り、その患者は死んでしまう。予後不良の病症状があるけれども、脈の上では死脈というものはまだ出ていない。ただ出ていないのだが春になって、ものが生ずるに至ってはじめて人は死んでしまう。だから殺すという字を使っているのは、そのような意味合いである」

*王冰の注は上記②と同様

春三月の病を、陽殺と曰う。陰陽皆な絶すれば、期は草乾に在り。

(解説)
 王冰は、このように注を入れる。

陽病とは、傷寒温熱の病を謂わず、時ならずして熱を病み、脈、洪・盛・數を謂うなり。(陽病とは傷寒とか温熱とか、そういうものではない。時期と関係なく発熱して、脈が洪、盛、數、つまり太くて早い状態のものを言うのだ)
 然り春三月中、陽氣尚お少なく、未だ當に全盛ならず。而して反って熱を病む。脈、夏氣に應ずるものなり。(春三月中は陽の氣は少なく全盛の状態ではない。それにも関わらず熱を病むという状態になる。それは脈が、夏氣という次の季節の陽の氣が盛んな状態に対応してそのようになっているのだ)
 經に云うとは、脈再見せず、夏の脈當に洪・數たるべし。外、陽にして應ずることなく、故に必ず夏至に死す。(＊この文章は何を言っているのかよくわ

Contents

F-1
 ・新年ご挨拶
 ・素問勉強会

F-2
 ・素問勉強会
 ・令和2年第4回学術講習会 報告

F-3
 ・令和2年第4回学術講習会 報告
 ・令和2年11月度素問勉強会

F-4
 ・研修会(講座)案内
 ・行事予定

からない)

夏至に於いて陽氣、物を殺すの時に死するを以て、故に陽殺と云うなり。(夏至の頃に陽の気が非常に強くて、それがものを傷害してしまう。春三月の病であるが、春三月の病が夏になって予後不良になって死んでしまうという状態を陽殺というのだ)

また曰う「若し陽病ならず、ただ陰陽の脈皆な懸絶せるものは、死は霜降草乾の時に死んでしまう。(陰陽がみな絶しているものは、霜降草乾の時期に死んでしまう)」

張燦こう(こうは、王へんに甲)等は、その著作に於いて以下のように記す。

陽殺：注家これについて認識が一ならず。

たとえば馬玄臺の注においては、「春三月病む者は、まさにその人、秋冬において、用いるところを奪われるをもって、陰氣耗散し、陽に勝ることあたわず。ゆえに春、盛陽にあらずといえども、交春すなわち病、陽を爲して、而して死す。名づけて陽殺という。(春の時期に病気になる人は、その年の秋や冬、陰氣が耗散するので陰が虚して陽が相対的に実という状態になる。その状態の時に死んでしまうので陽殺という)

＊ほんの少しの文章をこれだけ引き延ばして解釈するのはいくら何でも無理があると思う。

『**類經**』張介賓の注は、「春の月は陽氣方に升らんとして、病、陽にあるものは、ゆえに陽殺と曰う。(春の三か月というものは陽氣がだんだんと盛んになってくる。だからその時に病は陽の部分【頭とか肩とか、皮膚の表面】に出る。その状態を表現して陽殺という) 殺という字は、衰えるという意味である。

＊これはわかりやすい注だと思う。

呉崑の注は、「春の月、陽の氣、方にのぼらんとし、萬物生育し、病あるに宜しからず。今反て焉に病む。これを陽殺という。(春というものは、陽の氣が出てきて万物も生育する時期であって、病などあるべきではない。それにも関わらず病気になる。そこでこの陽殺という言葉を使うのだ)

＊これもあまり良い注とは言えまい。

張燦こう等は「馬玄臺の注は陰虚病熱を指す。張介賓と呉崑の注はいずれも陽虚を指す。その義、相反す。しばらくの間は馬玄臺の注にしたがう」と述べている。

「陰陽皆な絶すれば、期は草乾に在り」について、張燦こう等は、このように記す。

草乾：注家、これに對して認識は一樣ではない。

王冰の注では「若し陽病ではなく陰陽

の脈が皆な懸絶するものは、霜降草乾の時に死す」と言っている。

馬玄臺の注では「其の脈、陰陽俱に絶すれば、則ち此の三月を満たすこと能わず。期(死ぬ時期)は、舊草、冬の枯れた草がからからになってしまわないぐらいの時期に死んでしまう。張燦こう等は、この二説を受け「二つの説は未だ何れが是なるかは知らず。しばらくは馬玄臺の注にしたがう」と記している。

＊この文章も注解者によって意見が違い、よくわからないということを表しているものと思う。

＊参考までに2020年から2021年にかけての季節と新暦の関係を書いておきます。

冬：2020年11月7日(立冬)～翌年の2月2日 **春**：2021年2

月3日(立春)～5月4日

夏：5月5日(立夏)～8月6日

秋8月7日(立秋)～11月6日

『素問』の森を歩いてみませんか。ころざしは毎月休まず第二日曜、午前10時から12時まで大阪府鍼灸師会館3階です。COVID-19感染予防対策の下、勉強会のご案内につきましては本会ホームページをご確認ください。『素問』の森を歩いていたら、自然に『靈枢』の森へ続いていきます。

素問勉強会世話人
東大阪地域 松本政己



令和2年 第4回学術講習会

(令和2年11月8日)

第1講 「総合診療医が教える鍼灸師に必要な診療テクニック」

講師 医療法人弘池会 口之津病院
医師 はり師 きゅう師 寺澤佳洋先生

総合診療医の寺澤佳洋先生は、元明治鍼灸大学出身で鍼灸師の経歴もお持ちです。今回は、そんな貴重な経験をお持ちの寺澤先生ならではの視点で、私達に向けてとても分かりやすく、楽しいご講義をしていただきました。

総合診療とは、家庭医療学をベースにし、プライマリケアが出来る医療で、様々な症状を持つ家族全員を診れる窓口になる医療です。そして、我々鍼灸師の役割は患者さんのファーストタッチになる機会が多いところなどで総合診療と類似しており、患者さんの健康寿命を延ばす予防医学の為に貢献できるという利点があります。より良い日本の為に、健康作りの為に、先生は医師と鍼灸師をつなぐ仕組み作りをデザインしたいと仰っています。

その為には、鍼灸師側からも積極的に医師へ歩み寄ることが必要です。

具体的なトピックスとして「同意書の頼み方」について、先生からアドバイスがありました。医師にとって、同意書を書くかどうかの判断基準で一番多いのが、「内容をしっかり吟味してサインをする」という意見です。まずは、その患者さんにどのような理由で鍼灸適応があるのかということを詳しく伝えること。さらに、その患者さん

にとって鍼灸治療が必要であるという情熱も伝えると良いとのこと。ただし、大前提として、その鍼灸師に患者さんを任せられるかどうか、という信頼関係があるかが一番大切。その為には、通常より、「顔の見える関係」の構築が不可欠です。さらにその関係を超えた「貯信」が大切になります。現状の課題として、現場の医療福祉従事者の交流の機会を確保し、情報が職種や機関を超えて共有されることが求められていますので、我々鍼灸師も是非その意識を持っておくことが必要です。また、総合診療医のコア・コンピテンシーの中で特に重要なことが、「患者さん中心の医療であること」で、鍼灸師も大いに学ぶべきところです。

分かりやすい例として、肩こりの患者さんの場合で解説していただきました。

初診で3人の肩こりの患者さんに、同じ治療をして治療後NRS 8→2となったが、患者さんの表情(反応)がそれぞれ三者三様であった場合、どう解釈するか。それは、患者さんの満足度とは、治療効果だけでなく患者さんの訴えや思いを聞くことに大きく影響します。ポイントとして、問診で必ず最後に「他に気になることがありますか?」と確認することです。

患者さんとの関係性を強化する為に大切な

3つの要素が、Disease(疾患)、Illness(病い)、Health(健康観)としてご紹介いただきました。

Disease(疾患)については、患者さんの病歴、診察、検査より診断すること。問診や徒手検査を駆使して、緊急性の高い疾患の除外などが目的で、日々鍛錬していく必要があります。

特に大切なIllness(病い)については、患者の解釈モデルを深堀りすることで、「かきかえ」を使用して、理解することです。

か：解釈：「自分の病気についてどのように考えていますか?」

き：期待：「本日はどんなこと期待して受診されましたか? (検査? 診断? 薬?)」

か：感情：「この状況でどう感じていますか?」

え：影響：「今起きている問題が、生活にどのように影響してますか?」

さらにHealth(健康観)については、その患者さんの健康に対する意味です。

病気があっても健康だと感じる人、または病気がなくても健康と感ない人もいるように健康観とはどのような状態か、また今後取り組みたいことや大事なことなどの目標を知ること、患者さんとの距離が非常に近くなります。

また、その他にも、アルコール依存症の患者さんの例から、ただ薬を処方するよりも、その患者さんの背景を深く理解した上での社

会的処方が有効であるとお話がありました。このように、患者さんをBPSモデル(生物心理社会モデル)からの俯瞰する視点を持って個別ケアを行うことが、患者さん中心の医療の為に大切なことです。

また、「選べるメニュー」の中から、当日参加者からのリクエストにより、腰痛のレッドフラッグを見極めるテクニックを紹介いただきました。医療でレッドフラッグとは「見逃してはいけない疾患を示唆する徴候や症状」を意味しています。

特に癌、化膿性脊椎炎、圧迫骨折など危篤な状態の兆候を知っておくこと。

まず1カ月以上続く腰痛、夜間の安静時痛がある場合は要注意。さらに、その他のレッドフラッグの覚え方として「TUNA FISH」もご紹介いただきました。

その他、心理学テクニックを使った良好な対人関係構築の仕方や、がん検診についてのポイントなど、先生の用意してくださっていたトピックスは全部お聞きしたい位、皆興味深いものばかりでした。寺澤先生のプレゼンは、サービス精神旺盛で、全く聞くものを飽きさせないように細部に工夫がされていて、正に、これが常に相手目線でのホスピタリティ、先生の日々の患者さんへの丁寧な対応が目に見えようで、非常に勉強になりました。我々鍼灸師も、より広い視点で患者さんやそのご家族、さらに社会全体がより良く機能していく為に貢献できればと思います。

研修委員 上田里実



お申込みはコチラ→

研修会（講座）案内

日 時	令和3年1月10日（日）	日 時	令和3年2月14日（日）（受付13：00～）
	10：00～12：00		①13：30～15：00 ②15：15～16：45
場 所	大阪府鍼灸師会館3階またはWEB配信(ZOOMミーティング)	場 所	大阪府鍼灸師会館 3 階 または WEB 配信（ZOOM ミーティング）
研修会名	令和3年 1 月度素問勉強会	研修会名	令和2年度 第6回（2月度）学術講習会 ハイブリッド開催（会館受講＋WEB 受講） 全日本鍼灸学会近畿支部 C 講座（予定）
内容・講師名	「素問」 方盛衰論篇第八十注 日本鍼灸研究会代表 篠原 孝市 先生 ◆会館での参加は先着20名、WEB配信は先着100名とさせていただきます。詳細につきましては、大鍼会ホームページをご参照して頂きますようお願い申し上げます。 東洋療法研修試験財団および大阪府鍼灸師会の研修単位（各2単位）が取得できます。GKカードも持参して下さい。	内容・講師名	①「頭痛に対する鍼灸治療・効果機序の考察」 ②「頭痛に対する鍼灸治療・実技編」（実技供覧） 慶應義塾大学医学部 漢方医学センター 講師 鳥海 春樹 先生 ◆鍼灸は様々な疾病治療に活用できる強力な医療技術です。特に頭痛に関しては、薬物療法と併用する事で、個々の患者様の多様な症状に対応できる診療サービスを提供出来ます。本講座では、慶應義塾大学病院神経内科頭痛外来と連携して運営してきた頭痛に対する鍼灸外来のスタンスを基礎研究と臨床の両面から御紹介させて頂き、地域医療の中で鍼灸をどのように活用していけばいいのか、御参加の先生方と色々な角度でディスカッションさせて頂きたく存じます。先生方の臨床に少しでもお役に立てれば幸いです。 是非御参加下さい。
午前・午後 通しの聴講料	本会会員 ￥1,000 会 員 外 ￥2,000 学 生 無料	費 用	本会会員¥1,000 会員外¥2,000 学生 無料（午前午後通しの聴講料）
申 込	QRコード、大鍼会ホームページまたはFAX https://forms.gle/k9NaBVY5mJU7ahFo6	申 込	QRコードもしくは大鍼会ホームページ、FAX https://forms.gle/1saJdSrV1co6ATqZ8
備 考	GKカード持参	備 考	・事前申込みの上、定員は会館受講を先着20名、WEB受講を先着100名とさせていただきます。お申込み方法は、下記のQRコード・大鍼会ホームページまたはFAXにてお申込み下さい。 東洋療法研修試験財団および大阪府鍼灸師会の研修単位（各2単位）が取得できます。 ・GKカード持参
主 催	（公社）大阪府鍼灸師会		

会館受講希望の方 (FAXまたは右記のQRコードよりお申込み下さい)	WEB（ZOOM）受講希望の方 (受講費の振込み先は、申込みフォームに記載しております)	会館受講希望の方 (FAXまたは右記のQRコードよりお申込み下さい)	WEB（ZOOM）受講希望の方 (受講費の振込み先は、申込みフォームに記載しております)	→ FAX 06-6351-4855 → ◆講習会に関する問い合わせ先 ■（公社）大阪府鍼灸師会 〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町6-6 ■TEL：06-6351-4803 （土・日・祝休み）
フリガナ氏名	申込みフォーム 	フリガナ氏名	申込みフォーム 	
地域名	WEB配信利用手引書 	地域名	WEB配信利用手引書 	
TEL		TEL		

公益社団法人 大阪府鍼灸師会主要行事予定表 （12月10日現在）

令和3年1月		
日時	主要行事	場所
4日（月）	新年互礼会（中止）	
5日（火）	事務局仕事始め	
7日（木）15：00～	生保審査会・相談会	会館2階
10日（日）10：00～	素問勉強会	会館3階+WEB配信
14日（木）19：30～	第5回 正副会長会議	会館2階
17日（日）14：00～	第6回 理事会	会館4階
令和3年2月		
日時	主要行事	場所
5日（金）	会費自動引き落とし日	
8日（月）15：00～	生保審査会・相談会	会館2階
14日（日）10：00～	素問勉強会	会館3階+WEB配信
14日（日）13：30～	第6回学術講習会	会館3階+WEB配信
18日（木）19：30～	第6回正副会長委員長合同委員会	会館4階
令和3年3月		
日時	主要行事	場所
8日（月）15：00～	生保審査会・相談会	会館2階
14日（日）10：00～	素問勉強会	会館3階+WEB配信
18日（木）19：30～	第6回正副会長会議	会館2階
21日（日）10：00～	第7回理事会	会館4階
21日（日）15：30～	第3回地域代表連絡会	会館2階
28日（月）	事務局仕事納め	